

## 第2学年 生活科 学習指導案

指導者 長浜市立高時小学校  
教頭 西村万里子

### 1. 単元名 ときどき わくわく まちたんけん (9時間)

### 2. 単元の目標

- ・ 天然記念物のオオサンショウウオや、文化財、豊かな自然環境等、地域にある自分のお気に入りの場所、興味のあること、不思議に思っていること等をより詳しく知ることができる。 (知識・技能)
- ・ オオサンショウウオが住み続け、歴史的に素晴らしい文化財が受け継がれていく持続可能な私たちのまちや人々の生活のあり方等、興味のあることから自分と地域との関わりを広げることができるようにし、その環境を守り続ける人々の努力と自分たちにできることについて一人ひとりが自分事として考えを深めることができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 地域の人々とかかわりながら、生活上必要な習慣や技能を身につけ、安全に気を付けながら考えたことを計画的に、仲間と協力しあって実践することができるようになる。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

SDG s との関連：関連するゴール

目標 1 1 (持続可能な都市) 持続可能なまちづくりのための、地域の方々の努力や工夫を知る。

目標 1 5 (陸上資源) 陸域生態系の保護、持続可能な利用の促進、森林の経営土地の劣化の阻止、生物多様性の損失阻止等に関する地域の人々の努力や工夫を知る。

目標 1 7 (実施手段) 地域の人々に質問したり、一緒に何かをしたりするなどし、自信と誇りをもって地域の人々に親しみや愛着をもつとともに、人々とともに地域を創り上げる主体的な意識を育む。

この学習は地域の協力なくしては、成り立たない。地域の「ひと・もの・こと」が、長い歴史の中で人々によって大切に受け継がれ、よりよく工夫され守られ続けてきたことを児童が知り、郷土や町の人々への愛着と誇りを育む。そして児童が自分事として2回の地域での現地学習や、事後の学習をP D C Aサイクルを回しながら主体的に進めることができるようにする。このことで子どもたちがE S Dの視点から課題解決し、よりよい社会をめざして新たな地域の創り手となっていくような意識を高めることをねらいとする。また、発達段階を踏まえながら、次年度の3年生の総合的な学習の時間の取組へとつながるような学習とする。

## (2) 児童観

本校の児童は誠実で、やるべきことに一生懸命に取り組むことができる。地域の人々、自然や文化財、祭り、名所等に対する誇りや郷土愛は強いものがある。例年、茶摘みや紅葉祭り等の地域行事に学校全体で参加し活動していることで、地域の人々の願いや、本校上級生の姿勢を体験を通して感じ取り、潜在的に子どもたちの意識が高まっていると思われる。また、地域資源を大切にしていきたいとの熱い思いも子どもたちの間に脈々と受け継がれている。

## (3) 指導観

指導上の工夫として、地域に出かけて学ぶ活動や、地域人材を招聘しての学習等がより深まるよう地域との連携を密にして指導を進める。また、単なる知識の受け売りにならないよう、自ら考え問題意識をもって主体的に学びを進められることや、子ども達が本物にふれ、その質の高いよさを実感しながら学びを深められることを大切に、学習の流れや発問・支援等を工夫していく。成果物として学習内容をまとめ、発表する活動を行い、表現力・コミュニケーション力等も評価し、次年度以降の総合的な学習の時間につなげていく。

## (4) ESD との関連

### ・学習を通して主に養いたい ESD の視点

【多様性】地域の多様なよさに気づくことができる

【相互性】地域の方々と関わりながら、相互につながりあい、ふれあう中で地域のよさを感じ、より学びを深めていこうとすることを大切にする。

【責任性】地域からご支援いただくだけでなく、地域のために自分ができることをしていこうとする双方向の関わりの中で地域への協力的・主体的な姿勢を培い、地域の将来への責任感を高める。

### ・学習を通して主に育てたい ESD の資質・能力

地域での現地学習や調査、地域の人々と触れ合う中での学習等を繰り返しながら、郷土愛に基づく学習への意欲の高揚や深まりをめざし、生涯にわたって主体的、継続的に課題を解決したり、生活をよりよくしていこうとしたりする実践的な資質・能力を育む。

## 4. 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
地域には様々な場所や歴史があったり、様々な人々が生活したり働いたりしていることがわかり、それらが自分たちの生活を支えていることや、楽しく豊かにしていることに気づくことができる。	行きたい場所や会ってみたい人を決め、相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、活動の計画を立てて、まち探検をするとともに、それを振り返って、素直に表現できる。	身近な地域の人々やさまざまな場所に関心を持ち、ルールやマナーを守り安全に気をつけて、自分事として見たり、調べたりしようとしている。

5. 単元展開の概要 9時間（4～6月）・12時間（10～11月）・12時間（11～12月）

主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
<p>1. まちのことを話そう。（1時間） 自分の生活している地域の中でお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おすすめ」「じまん」等のキーワードで、児童から地域について知っている情報を引き出す。</li> </ul>	<p>関心・意欲・態度 【多様性】 【相互性】</p>
<p>2. まちたんけんの計画を立てよう（2時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の地域での関わりを話題にするなど、「確かめたい」「もっと見つけたい」という探検への興味関心が高まる投げかけをする。</li> <li>・児童に会わせたい人や繰り返し関わらせたい場所などは、教師が意識して、あらかじめ写真などを用意しておき児童の興味を喚起する。</li> </ul>	<p>思考・表現 【相互性】 【責任性】</p>
<p>3. まちたんけんに行こう（3時間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を中心とした簡単な絵地図を掲示し、最初に児童の家にシールを貼る。</li> <li>・まずは「調べる」「行きたい」という思いを大切にしてい、地域へ出かける。</li> <li>・地域の音や臭いなど諸感覚を使った活動としたい。</li> <li>・iPad、デジタルカメラ等を活用する。</li> <li>・地域関係者との連携を密にする。</li> <li>・保護者などの協力を得て児童の安全確保をする。</li> </ul>	<p>関心・意欲・態度 気づき 【相互性】 【責任性】 【連携性】</p>
<p>4. 見つけたことを教え合おう（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検で見つけたこと、わかったことを振り返り気づいたことを記録カードに書く。</li> <li>・見つけたことの中で伝えたいことを付箋紙に書き絵地図に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域には、様々な場所やものがあり、多様な人々が生活したり、働いたりしていることがわかり、それらと自分たちの生活との関わりに気づけるように助言する。</li> </ul>	<p>関心・意欲・態度 思考・表現 気づき 【相互性】 【責任性】</p>

<p>・絵地図を見ながら、自分たちが調べてきたことや、新しく見つけたことなどを発表する。</p>	<p>・振り返りの中で、対象に対する課題や自分に対する課題を確認し、次の探検活動に生かせるようにする</p> <p>・今後も探検以外の時間にも地域で見つけたことや分かったことを絵地図に付け足しながら、学習の深まりを可視化していく。</p>	
--	---	--

※ 上記の単元に続いて、以下の2つの単元につなげていく。

「もっと なかよし まちたんけん」(12時間)(10～11月)

- ① まちたんけんの計画を立てよう (3時間)
- ② もういちど たんけんに行こう (3時間)
- ③ まちのひととなかよくなろう (3時間)
- ④ なかよくなった人のことを紹介しよう (3時間)

「つたわる 広がる わたしの生活」(12時間)(11月)

- ① つたえたいな まちのすてきな できごと (1時間)
- ② つたえるじゅんびをしよう (4時間)
- ③ もっと くわしく しらべよう (2時間)
- ④ まちのすてきを つたえよう (3時間)
- ⑤ まちにつたえに行こう「紅葉祭りで発表」(2時間)